




学習プログラムのご紹介

(社)日本医師会治験促進センター

概要

厚生労働省の「全国治験活性化5カ年計画」の重点的取り扱い事項の一つとして「治験・臨床試験を実施する人材の育成と確保」が挙げられました。そこで日本医師会治験促進センターでは、治験に携わるスタッフの更なる質の向上・維持のための教育を目的として、インターネットを利用した学習の場  を構築し、平成20年2月15日より提供を開始しました。

主な利用の対象者

臨床試験に携わるすべての者

- 医師
- IRB委員
- CRC, 事務局担当者
- モニター
- データマネージャー
- 生物統計家 など



の特徴

本トレーニングセンターでは、臨床試験を実施する上で必要とされる知識を習得するために、多数の設問を揃え、かつ設問を9つのカテゴリ、3つの難易度に分類しました。これにより利用者の目的やレベルに合わせて学習できます。

しかし、一般的なe-learningシステムでは特別な強制力がない限り

継続して学習するのは難しいと思われ

楽しく

いつでも
どこでも

継続した
学習



本トレーニングセンターでは、

学習できるように様々な工夫をしています。また、利用者ごとに学習履歴・成績管理ができるので、人材育成の場として利用できます。

学習プログラムのご紹介

トレーニング学習プログラム

・設問を繰り返し解いていく過程で必要な知識を習得することを目的としています。

セルフアセスメント学習プログラム

・習得した知識を確認、そして弱点を明確にすることを目的としています。

情報共有システムのご紹介

・情報共有システムでは、臨床試験の現場で起きた問題や疑問点などを、同じ立場の人たちに相談したり、情報共有をする場（SNS）を提供します。

設問の管理について

設問は主に3つの方法、手順を踏んで公開、更新をしていきます。

有識者により設問が作成されています

本学習プログラムで公開される設問は、臨床試験及び治験に精通したおよそ120名の方に作成を依頼しています。全ての設問は外部の委員会にて編集され、採用された設問のみが公開されていきます。

利用者也設問を投稿できます

利用者からの設問投稿も受け付けます。「こんな問題いいと思うんだけど、ひとりでは完成できないなあ…」そんな時には、情報共有システム内で、他の利用者から意見を聞いて、完成させることもできます。

利用者からの意見も積極的に取り入れます

臨床試験の方法論や関連法規は変化していきます。それに伴い本学習プログラムで出題される設問も随時更新していく必要があります。そこで、利用者自らも設問に対して指摘できるシステムを搭載しています。

ぜひ、ご利用頂き、
自分自身を磨くと共に
本トレーニングセンターを
育ててください。



利用方法

ユーザー登録いただければ、どなたでも無料で利用できます。まずは、次のURL
<http://etrain.jmacct.med.or.jp/>
または、治験促進センターのホームページよりアクセスしてください。